



カトリック町田教会
町田市中町3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512

いかずちの子

ルカ 6 27 ~ 28 <http://www.machida-catholic.jp/>



わたしの言葉を聞いているあなたがたに
言っておく。敵を愛し、あなたがたを憎
む者に親切に下さい。悪口を言う者に
祝福を祈り、あなたがたを侮辱する者の
ために祈りなさい。

一本の松

主任司祭 小池 亮太

東日本大震災が起きてから
ちょうど一年半後の9月11日
の朝、遠野教会を出発した車
は、夏のような日差しの中、葉
は緑を残すものの、頭を垂れ
た稲穂は黄色くなつた田圃の
中を抜け、岩手県の沿岸地方
に向かって進んでいきました。
陸前高田に着くと、まず『奇
跡の一本松』がある海岸に向
かいました。今は失われてし
まいましたが、そこには全長
二キロの砂浜に七万本の松が

けられ、人に注目されること
になりました。そして、枯れ
てしまつと、切り倒され、特
殊な加工を施されてから、元
々あつた場所に戻されること
になつたのです。

一本だけ残つたために、そ
れは、もはや一本の松ではな
くなつてしまつた……。様々
な人の思いをその幹と枝で引
き受けるようになったのです。
ある人には、津波で失われた
命の 墓標 に、またある人
には、自分が生き残つたこと
の 運命の不思議さを思わせ
るもの、別の人には 復興の
シンボル であつたり、忘れ
てはならない津波の記憶 で
す。他にも、観光名所として
人を集める道具 と見ている
人もいれば、特殊な加工を施
す会社にとってはこれ以上な
い 宣伝材料 です。他にも
いろいろなる人のそれぞれの思
いがあるでしょう。このよう
に、松林の中にあつて、人に
目を向けられることもなかつ
た一本の松は、津波になぎ倒
されなかつたことによつて様
々な人の思いを引き受けるこ
とになつたのです。

スラエルの指導者たちにとつ
ては、ローマ総督を利用して
邪魔者を排除した成果 であ
り、総督のピラトにとっては
保身のために無実の人を殺
すことになつた後味が悪い結
末、百人隊長には イエスが
神の子であつたと悟らせるも
の、そして多くの人にとつ
ては 関心の無いこと ……
歴史の中にポツンと立つ十字
架と一本の松は重なつて見え
ます。

しかし、イエスの十字架は
終わりではなく、本当の
救いの始まり だつたこと
がイエスの復活によつて明ら
かにされました。そうである

地域ブロックとのパイプ役

運営委員 関 孝子



運営委員会で地域ブロック
を担当して二年目になります。
それぞれの地域で話題になつ
ている事柄を運営委員会で報
告し、また逆に、運営委員
会で検討した結果を地域ブロ
ック委員会に伝える。
そのようなパイプ役を担つ
て、昨年は大きな行事として
バザーを開催する年にあたり

ならば、津波に耐え、枯れて
もなお、人々の様々な思いを
引き受けながら、そこに立ち
続ける一本の松もそのような
しるしとなつて欲しい……。
被災地から宿に戻り、腕や
首の日焼けがヒリヒリ痛む温
泉の中で、人が生活している
にもかかわらず不思議と音が
無く、ダンブトラックの走る
音が妙に響く津波に襲われた
街々、地震発生の14時46分
に釜石の市街地に鳴り響いたサ
イレンの音、その時、その場に
立ち尽くして海に向かって手
を合わせて祈る人々の姿など
を思い出しながら、そのよう
なことを考えていたのでした。

ましたので、バザーのこと、
東日本被災地への支援事業の
開始等に加え、葬儀に関する
話題もみんなの関心事でした。
地域での話題、問題など、
一つひとつ討議しながら進ん
でいったように思います。
今年初めての「長寿感謝
の日」の行事が企画され、時
には運営委員長も地域ブロッ
ク委員会に向いて説明をし、
普段教会に来ることができな
い方々のために「送迎」の便
をはかることで「ミサにあず
かっていただけるようにし、
九月十六日、「長寿感謝のミ

「サ」は岡田大司教様の司式でおそかに行われました。よく話題になるのは掃除の事です。各ブロックで担当してはいますが、問題点を一つひとつ検討し、改善しながら掃除の行き届いた、心の安らぐ祈りの場として、地域ごとに連携を取りながら掃除に心を砕いているようです。

地域ブロックは町田教会の基盤となる組織で、その委員会と運営委員会のパイプ役を務めながら、運営委員会にもいろいろな仕事があり、多くの方々が教会業務に携わっておられることに感心するとともに、教会が一層身近に思えるようになりました。始めは運営委員会とはいかなるものが、私に務まるかなど不安がありました。二、三の方に尋ねたりしました。が、教会のことを知る上で、とてもよい機会だったと思えるようになり、今では感謝しております。

中間決算・財務報告

財務委員長 坂井 剛

今年の町田教会の中間決算は健全に推移しています。

ここ数年、中間決算は厳しい社会状況などを反映し、また一年間の途中ということもあり、毎年献金収入は予算額に対してマイナス傾向なのですが、今年はわずかですがプ

ラスに転換しています。支出の方はほぼ予定通りです。このまま後期もよろしくお願い致します。

献金収入の減収傾向に歯止めがかかり、財務委員一同喜んではいけませんが、手放して喜んではいけない現状もあります。今年の献金収入の予算は一千五十万円で皆さんに承認して頂きましたが、この予算は昨年比べて三十万円、五年前と比べると百五十万円少ない予算となっている訳です。長引く不況の中で町田教会の献金収入予算も毎年減り続けていたのです。

こうした中でプラス傾向に転じてきたわけです。皆さん喜びを胸に秘め、気を緩めずこれからもよろしくお願い致します。

私は、財務状況健全化の土台は教会が地域に開かれ、活気に満ちた共同体であることだと認識しています。確かに財務状況は世の中の景気、社会状況に左右されますが、町田教会に集う皆さん一人一人が大切にしたい「共同体」であることが何より大切だと考えています。

口の悪い仲間が「財務部長が頼りないから、皆さんがサポートして下さい」と話していません。この指摘、聞きながら

祭典奉仕者

ミサとは (感謝の祭儀) 歌による奉仕

オルガン奉仕者と詩編歌唱者の奉仕(一部)をルポ(池永)

上綱敦子さん (オルガモ歌も冠婚葬祭(代表)ミサ予定表作り(曲選び))

鈴木恭江さん

武永恭子さん

小吹さん

松本亮英さん

大田さん

丸茂さん

林茂さん

鮫島さん

丸茂さん

岡野さん

神のことは 聖霊の働き 思い起こす 沈黙 前奏 答唱区全体 模範演奏 詩編 歌唱奉仕者 黙想 会衆全員 丁寧!

神に感謝 会衆の答ではなく 奉仕者が黙想を誘導する為!

第1朗読 ことばによる奉仕

意味をよく味う 特に大切な言葉を丁寧に!

神のことはわざの記念に効果UP!

天使たちが天上で神に歌っている 栄光と賛美の賛歌

オルガニストの奉仕するところを ヒロックアソフ

前奏演奏は省略部分

ミサとは 感謝の祭儀 歌による奉仕

ことば 語りかけ 働きかける

神の民と

答唱句

練習を重ね 悪いクセがつかないように

祭司(神)の民として! 尊い大切な務め

大切

<p>④ 閉祭</p> <p>交わりの儀</p> <p>また司祭と 神の小羊 拝領後の伴奏の歌</p>	<p>③ 感謝の典礼</p> <p>主の祈り 天にあらはる 国と栄光は</p>	<p>② 言葉の曲礼</p> <p>奉納の歌 主は皆さん 聖なるかな</p>	<p>① 開祭の儀</p> <p>あゆみの賛歌 栄光の賛歌 地には</p>
---	---	--	---------------------------------------

「ミサがわかる」土屋吉正著

正解だなどと思い、照れ笑いでいました。

九月に東京大司教区の財務担当者会議が開催され、宗教法人として、これまでもそうでしたが、より一層の公正な税務処理、明朗会計に努めていくよう指示がありました。町田教会財務としてもシッカリ対応してまいります。ご支援これからもよろしくお願い致します。

ウエルカムテーブル黙想会
村松 勢津子

平成二十四年七月十四日、第五回ウエルカムテーブル黙想会が汚れなきマリア修道院において行われました。講師は、セルヴィ・エヴァンジェリー会宣教師レイス・ゴメス・マリア・パウラさんでした。五ヶ国語を話されるパウラさんは笑顔の美しいポルトガルの方です。

黙想会のテーマは「神のいつくしみの中に歩む」でした。テゼの歌と聖書朗読の後、なぜ神の慈しみにこだわるのか、パウラさんの話が始まりました。若いころの本当の神を知らなかった体験、苦しい時に神はいなかったという経験を話されました。神の愛に気づくまで待っていてくれた友、神様の愛が静かに少しずつ形になっていきました。聖

週間の木曜日に足を洗ってもらった時のへりくだって人の前にひざまずくイエスの姿、私の傷を自分の傷にしてくださったイエスを身を感じたあの日、自分の十字架を背負い続けるために生きた信仰を持ちたいと願ったあの日から、イエスの十字架の意味がわかるようになっていきました。パウラさんのお話は感動でした。

お昼の時間、修道院の心こもった食事に一同大感激でした。賑やかに、楽しく、初めて出会った人とも昔からの友人のように意気投合しているさまは驚きでした。

午後のお話はイエスとの対話を中心に、毎日の生活の中で出会う神様との関係を話されました。二度目の黙想のありと信仰の分かち合いが始まりました。参加者が五つのグル



ープに分かれて自分の信仰をありのままに話し合う。話さなかった人はいませんでした。自由に話ができるこの雰囲気、各グループの一人が話し合いの報告をした時、お互いの信仰の共通点に気付いたものでした。

全体分かち合いも活発な話に終始し、意味深い黙想会が終わりに近づきました。最後のお茶の会では、山谷まりあ支援の会特製のチョコレートケーキをいただきながら、みなさん、春の陽だまりの中にいるように幸せそうでした。パウラさんの笑顔に魅

せられた私たちも、いつも明るく笑顔でいたいと思いた。

毎回素敵な写真集を作ってくださる坂井剛さんに、この場をかりてお礼を申し上げます。

夏期学校

リーダー 島田 和人

7月27日、28日の1泊2日の日程で、青梅市御岳山にて夏期学校を行いました。

最初は御岳山の麓から山荘まで登山です。1時間程度の登山では皆元気です。オリエンテーションの後、広場で外ゲームを行い、走ったり暴れたりしました。その

ワンポイント聖書



(188)

前島 誠

前回は神から与えられた「十戒」について、簡単な説明をさせていただきました。今回はそれとは別の、もう一つの掟、ここに引用する「六つの掟」について、その

内容の解説から話を始めることにいたします。なお今回の材料は、カトリック教会から取材したものです。

- 1 主日と守るべき祝日とを聖とし、ミサ聖祭にあずかるべし。
- 2 少くとも年に一度は必ず告白すべし。
- 3 少くとも年に一度は、御復活祭の頃に聖体を受くべし。
- 4 定められた期日に大斎を守るべし。
- 5 金曜日、およびその他定められたる

期日には小斎を守るべし。各々の分に依りて、教会維持費を負担すべし。

以下、番号順に説明を加えます。

- 1 「主日」とは、毎週やってくる、日曜日のこと。「守るべき祝日」とは教会暦に示された大祝日のこと。
- 2 告解の義務 少くとも年一回
- 3 聖体拝領の義務 少くとも年一回
- 4 大斎 定められた期日の断食。
- 5 小斎 金曜日の肉断食。
- 6 教会維持費 分に依りて負擔





小一 池田 可憐かれん
 わたしは土曜学校のみんなと、リーダーと神父さまといっしょに、みたけ山へ行きましました。一ばん楽しかったのは花火です。せんこう花火がき

後、ケープルカーの駅の方まで散歩です。途中でアイスが食べられて子ども達は満足したようです。
 夜は花火とキャンドルサーピス。花火は手持ち花火をやった後、みんなで吹き上げ花火を見ます。青色の花火が出る吹き上げ花火がとても綺麗で好評でした。キャンドルサーピスは歌とゲーム、そして思い出を振り返りました。
 2日目は長尾平までハイキングをし、その後下山です。
 1泊2日と短い時間でしたが、天気にも恵まれ、皆で楽しんで夏期学校でした。



聖母の被昇天ミサ(8月15日)
 マリア像の前で庭に集う信徒に語りかける小池神父。



八月二題

れいで好きです。
 おへやで、夜、ローソクをつけて、みんなでうたをうたったり、おどったり、ゲームをしました。大きなクモがいてびっくりしました。すこしこわかったです。
 かえりの日は、山を歩きました。ずっと下りのさかみちだったので、どんどん歩いて行きました。バスの中で、おやつをいっぱいいただきました。らい年は、山のぼりにちようせんしたいです。

被爆体験を聞く会(8月5日)
 「弟に最期の水を飲ませてやることができなかつた」と、広島での苛酷な被爆体験を語る岡野道子さん。多くの聴衆が真剣に耳を傾けた。



「雷の子」を郵送します
 教会に来られない方のために、「雷の子」の郵送サーピスをしてあります。希望される方は代理でも構いません。氏名と住所を広報担当者までお知らせください。また、お知り合いに送ってほしいという具体的なご要望があれば対応いたします。
 「雷の子」次号編集会議予定
 11月4日(日)09時30分
 於会議室

犠牲献金	
中高生会	
8月12日	11,130円
(ペロニカ苑へ)	
9月2日	9,786円
(ペロニカ苑へ)	

信者動静

2012年8月～9月

(個人情報のため。削除しています)